

所中だより



令和2年3月13日 第12号

学校教育目標

＜自主的な生徒＞

心豊かな生徒（感謝）

自ら学ぶ生徒（挑戦）

たくましい生徒（忍耐）

校長 岩間 健一

【特色ある学校づくり宣言】 本校は、さわやかな挨拶・心に響く合唱・地域に根ざす学校を目指します。

〒359-1118 所沢市けやき台2-44-1

TEL 04-2922-4138 (FAX:4139)

<http://www.tokorozawa-stm.ed.jp/tokorozawa-ih>

E-mail tokorozawa-j@tokorozawa-stm.ed.jp

祝 卒業おめでとうございます - 第73回卒業証書授与式 校長式辞抜粋 -

本日はご来賓として、所沢市教育委員会教育委員 清水國明 様をお迎えし、所沢中学校第73回卒業証書授与式を挙行いたします。263名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。新型コロナウイルス感染拡大防止の措置として、今年度の卒業証書授与式は、本校のみならず市内全ての中学校で、このような縮小した規模となりました。皆さんにとっては残念なことと思います。本日参加できなかった在校生や保護者の方々はもちろんのこと、私を含め本校の教職員も皆、残念な気持ちは同じです。しかし、そうなった原因は少しも皆さんにはありませんし、皆さんが卒業を迎えることの価値は、例年と比べて少しも劣るものではありません。堂々と、胸をはって本校を卒業して行ってほしいと思います。



皆さんは、今日で中学校3年間の学習を終えると共に、義務教育9か年の全課程を修了しました。思い返せば、3年前の入学式から、各教科の授業、様々な行事、部活動、入学試験等への挑戦など、思い出は限りないものがあることでしょう。特に3年生になってからの皆さんは、この所沢中学校のリーダーとして、1・2年生の模範となるべく生徒会活動、部活動、諸行事、地域活動などで力を発揮してくれました。体育祭では、下級生の手本となる組体操やダンスを披露し、参観いただいた多くの保護者や地域の皆様からも大きな拍手と多くのお褒めの言葉をいただきました。合唱コンクールでは、武蔵野音楽大学のバッハザールに美しく迫力のある歌声を響かせ、多くの参加された方から、素晴らしかった、感動したという言葉がいただきました。さらに、地域清掃やお祭りなど、地域での様々な活動にも積極的に取り組んでくれました。こうした成果は、皆さん一人一人が素晴らしい力を持っていることの表れです。

秋の校長面接で、皆さん一人一人が、本校を説明するときには、「あいさつ」「合唱」「ボランティア」の本校三本柱を、誇りを持って語ってくれました。…（中略）…これらのことは、皆さんの先輩達が作り上げてきた本校の伝統を、皆さん自身の力でさらに素晴らしいものへと高めてくれた成果だと思えます。皆さんは同時に、一人の力には限界があり、このような力を発揮するには、多くの力を合わせる必要があることを学んできました。…（中略）…

人は一人では生きていけません。これまでもそうであったように、これからの人生においては、自らの努力と共に、それを支え励ましてくれる人々の存在が必要です。そのような多くの人々の支えに対して、常に「感謝の気持ち」を忘れない姿勢が、人生を明るく、楽しく、そして幸せにします。今日、家に帰ったら、皆さんの成長を最も身近で、これまで支えてくださったお父さん、お母さん、ご家族の方などに「ありがとうございました」の感謝の一言を忘れずに伝えてください。このような「感謝の気持ちを持つ人」は、周囲の人から「感謝される人」になっていくことでしょう。「感謝される人」とは、見返りを期待することなく丁寧に物事に当たる人、一生懸命努力する人、思いやりの心のある人、などだと思えます。…（中略）…確かな実践を、これからの生活の中で、積み重ねて行ってください。結びに、卒業生263名の限りない前途を心から祝福し、式辞といたします。

卒業生 別れのことば 抜粋 - 卒業生代表 三瓶 朝香 さん -

春の暖かな風に、花のつぼみもほころび始めた今日、麗らかな日差しのもとで私たちは所沢中学校を卒業します。3年前の4月8日、満開の桜のなかで行われた入学式。一人ずつ名前を呼ばれ、緊張しながら返事をしたことを今でも覚えています。この日から所中生として過ごす日々が始まりました。



1年生、飯盒炊爨。まだ慣れない仲間たちとの初めてのカレー作り。…（中略）…2年生、自然教室。雨が降り出した農村体験。そんな中でも感じた、受け入れ家庭の方の温かさ。…（中略）…3年生、待ちに待った修学旅行。他愛のないお喋りと笑い声が飛び交った新幹線。奈良の鹿の自由さと東大寺の大仏の威厳。歴史を感じた金閣寺や、合格祈願をした北野天満宮。タクシーの運転手の方の豊富な豆知識。先生が来る足音にドキドキしながら過ごした夜。非日常が私たちに特別な思い出を与えてくれました。毎年、熱い戦いが繰り広げられた体育祭。初めてのことばかりで戸惑いもあった1年生。後輩に教えることの難しさを感じた2年生。

（裏へ）

そして、3年生。最後の体育祭には、一人一人の強い思いがありました。8組の仲間も含め、クラスみんなでバトンを繋いだ全員リレーと気持ちを合わせた大縄跳び。7色のグッズと応援の音が響いた校庭。自分たちで創り上げたソーラン節。3段タワーが見事に決まった組体操。辛い練習も共に乗り越え、クラスの団結力が高まりました。その団結力で取り組んだ合唱コンクール。ミュージックに響いた先輩方の歌声。自分たちも同じように歌えるのかと不安を感じたこともありました。今年、バッハザールで歌った「リフレイン」とクラス曲。時にはぶつかり合うこともあったけれど、合唱で心を一にすることの楽しさを知りました。私たちを成長させてくれた経験は他にもあります。学校をより良くするために自主的に活動した委員会や、同じ目標に向かって互いに切磋琢磨し合った部活動。一番長い時間を過ごした部活動の仲間は私にとってかけがえのない存在になりました。卒業する先輩方のために全力で取り組んだ三送会。タモリとキレッキレのヲタ芸、ダンス、劇は拍手喝采、大爆笑でした。

そして、毎日の学校生活のなかにも忘れられない景色がたくさんあります。朝、眠い目をこすりながら歩いた通学路、8時25分前に駆け込んでくる足音、先生のほうが声が大きかった朝のあいさつ…(中略)…そして、突然終わった学校生活、2月28日、卒業まであと10日、当たり前のこの日々は、卒業式の日まで続くものだと思っていました。最後にもう一度歌うはずだった「リフレイン」、「何度でも繰り返すこの今は一度だけ」という歌詞が今、こんなにも胸に染みるのは、突然なくなってしまった学校生活と、数えきれないほどの、溢れるほどの思い出のためでしょう。

辛かったことも、悔しかったことも、楽しかったことも、全て同じものなどない、一度しかない大切な思い出です。その記憶のどこをたどっても3年間共に過ごした仲間がいます。お世話になった先生方がいます。菅原先生、有馬先生、糸賀先生、粕谷先生、高橋先生、石渡先生、梅田先生、平原先生、木村先生、宮崎先生、春日井先生、忍田先生、そして上野先生。私たちは、有終の美を飾ることができていますか？ 時には厳しく叱られたこともありましたが、いつも私たちのことを一番に考え、指導をしてくださりありがとうございました。私たちと関わってくれた全ての先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

また、家族や地域の方の支えがなければ今日こうして集まることができていません。今日の晴れ姿を見せることができないのは残念ですが、いつも励まし、見守ってくれた家族にも感謝の気持ちを伝えましょう。

在校生のみなさん、教室の前の廊下やこの会場を華やかに彩る、素敵な壁画、ステンドグラス、メッセージをありがとう。私たちが卒業したあともきっとみなさんがこの所沢中学校の歴史を引き継ぎ、新たな風を吹かせてくれると信じています。

令和初の卒業生となった私たち。新たな時代を歩む中で困難にぶつかることもあるかもしれません。そんなときにこの思い出が、共に過ごした日々が、私たちを支え、背中を押してくれることでしょ。所沢中学校のさらなる発展と、卒業生一人一人の活躍、そして光り輝く幸せな未来を願い、別れの言葉とさせていただきます。

埼玉県教育委員会優良生徒 菊川友和(3-7)
埼玉県学校体育協会体育優良生徒
寺嶋凌汰朗(3-6) 保刈あゆみ(3-7)
産業教育振興会優良卒業生 神尾優奈(3-7)

在校生 送ることば - 在校生代表 和田 璃子 さん -

風の強く寒さの厳しかった冬も、ようやく過ぎ去りました。柔らかな早春の日差しの中、今日の佳き日に、所沢中学校を巣立って行かれる3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。先輩方との別れが、こんなにも早く、突然訪れてしまったことに、信じられない気持ちと、寂しさで、胸が詰まる思いです。

いつも、私たち後輩を導いて下さった先輩方。今、こうして振り返ってみますと、先輩方と共に過ごした数々の思い出が蘇ってきます。先輩方と初めて出会ったのは、2年前の入学式でした。緊張でいっぱいだった私たちを、あたたかい歌声で迎えて下さったことを、今でも鮮明に覚えています。部活動、委員会。そして、体育祭や合唱コンクールなどの各行事では、まだ、何をどうすれば良いのか戸惑っている私たちに、優しく的確な、時には厳しいアドバイスをくださいました。先輩方の真剣に取り組む姿。最高学年として、全体をまとめ、明るく声をかけてくださる行動力。体育祭では、迫力のある演技。合唱コンクールでは心震える歌声。その全てに、先輩たる威厳を感じ、私たち1・2年生は憧れを抱くと共に、圧倒されました。

今年は三送会が無くなり、先輩方に私たちのあふれんばかりの感謝の思いを、全員で揃って伝えるということは出来なくなってしまいました。ですが…周りの壁と窓ガラスをご覧下さい…。今日飾ってある、ステンドグラス、2年生が作った壁画、1年生が作った壁画やメッセージ、8組が作った東階段にある仲間という字や体育館入り口の装飾、これらは、三送会に向けて、皆が事前に準備してきたものです。これら全てに、1・2年生の、感謝の気持ちが込められています。

今の私たちでは、まだまだ先輩方には及ばず、頼りないところもあるかと思えます。それでも、先輩方に教えていただいたことと、共に過ごした思い出を胸に、先輩方が築いてきた所沢中学校の三本柱、そして、様々な伝統を受け継ぎ、さらに発展させていきます。先輩方にとって、この所沢中学校での日々が誇りとなり、様々な場面で支えとなることを願っています。

最後に、1・2年生を代表しまして…今まで本当にありがとうございました！先輩方の、さらなるご活躍を心よりお祈り申し上げ、送る言葉とさせていただきます。

